

PRIMO JAPAN CSR REPORT

PRIMO RING PROJECT

201



プリモ おもい プリモ かたち
最高の夢を最高の幸に

Share The Moment

喜びの瞬間を、永遠の記憶に

人生に訪れる特別なできごとの数々。

その喜びを、ともに分かち合うことから

私たちは始めたいと思います。

響きあう気持ちは、^{プリモ} ^{かたち}最高の幸となって。

やがて、永遠の思い出にかわっていく。

それをいつも信じているから。

私たちは、プリモ・ジャパンです。





1999年の創業以来、当社は「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)」を経営理念として掲げ、ブライダルリングの販売を行って参りました。結婚するお二人が抱いている想いを、指輪という形に変えて持ち続けて頂きたいという考えが、経営理念の根底に流れています。

人生で最も幸せなお二人の幸せをサポートさせて頂いている当社のCSR(企業の社会的責任)活動は、信頼される商品を販売するという、言わば自社だけの活動に限定されるものではなく、お客様にお届けするまでに関係する、様々な人々の業務と想いをつなげ、広げていく活動であるべきだと考え、活動の総称を「PRIMO RING PROJECT」と名付けました。

2008年4月から始まったプロジェクトも今年で3年目を迎えることができました。初年度のベトナムにおける幼稚園建設支援に続き、今期はフィリピンの小学校建設を支援しました。また、NPO団体の協力を得て、児童養護施設の学生に対して我々の仕事の内容や仕事に対する想いを語るというジョブプラクティスを実施いたしました。初めての試みであるため、当初は緊張していたプロジェクトメンバーも、実際に学生と語り合うことで、自分自身を見つめなおす良い機会になったようです。前期のメンバーから起案されたチャレンジ25キャンペーンやゴミ拾い活動は今期も継続しています。

「つながる」「広がる」という二つの言葉をキーワードとして、今後も地道ながらも着実に活動を続けて参ります。

代表取締役社長

澤野直樹

商号：プリモ・ジャパン株式会社 Primo Japan Inc.

事業内容：ブライダルジュエリーの企画・販売

設立：1999年4月15日

代表者：澤野直樹

資本金：4億5,130万円(2010年9月末現在)

従業員数：503名(2010年4月1日現在 ※正社員のみ)

本社：東京都中央区銀座七丁目16番14号 銀座イーストビル8F

子会社：Primo Israel Diamonds Ltd.

璞琳夢鑽石股份有限公司



当社は、2010年4月で創業から11年目を迎え、コーポレートロゴを一新しました。

従来のロゴは新芽が伸びていく様をモチーフに、成長、若々しさといった、これから企業を大きくしていくというベンチャースピリッツを込めたものでした。

新しいコーポレートロゴは、当社が大事にしている「人」をテーマに、グローバルに対応するシンボルとしました。

新しい企業のシンボルとともに、次の10年に向かって新たな一步を力強く踏み出します。

新コーポレートロゴの5つのコンセプト

- ① 漢字の「人」をモチーフにして、ロゴの主要部分を構成しています。
一番大切な「人」をモチーフにすることで、人やダイヤモンドの輝きを表現しています。
- ② 「日本のおもてなし精神」を海外で展開することを考えているため、日本の中心に位置し、
象徴とも言える富士山が水面に映る情景のようなニュアンスも持たせています。
- ③ 人の文字を上下に配置することで、社員とお客様、また結婚するカップルの永遠に続く絆を表現しています。
- ④ 色は、愛情、情熱を表す暖色系を採用し、和の雰囲気を感じるものにしました。
- ⑤ 社名にダイヤモンドをあしらうことで、ブライダルリングを取り扱う会社であることを示唆しています。

ブライダルリング業界のリーディングカンパニーを目指して。

当社グループはブライダルカップルに向けた、ブライダルダイヤモンドリング(婚約・結婚指輪)の専門店「アイプリモ」を日本国内で55店舗、台湾で5店舗、高級ダイヤモンド専門店「ラザールダイヤモンドブティック」を日本国内で10店舗展開しております。

ブライダルリングは、既製品を販売するのではなく、お客様のご予算、ご希望、ライフスタイルに合わせて、自由に組み合わせることができるセミオーダースタイルを採用し、理想の指輪を創りあげるサービスを提供しています。今後も、より一層お客様に満足して頂けるサービスを心がけて参ります。



日本最大規模の店舗数を誇るブライダルリング専門店「アイプリモ」。豊富なダイヤモンドルース(裸石)とリングの中からお好みのものを選んで婚約指輪をつくる『セミオーダースタイル』を主な販売方法とし、日本全国に55店舗・台湾5店舗を展開しております。

ピンクのブランドカラーは、幸せいっぱいのおふたりの“幸福感”を象徴し、専門店ならではの多彩なデザインバリエーションよりお好みの婚約指輪・結婚指輪をお選び頂いております。洗練されたリングデザイン、独自の仕入れルートにより実現した適性プライス、末永く輝き続ける指輪をサポートするためアフターケアも充実させ、幸福なお二人へのリングをご提案致します。



THE LAZARE DIAMOND®

The world's most beautiful diamond.®

ニューヨークのダイヤモンドカッターズブランドである「ラザールダイヤモンド」と販売店契約を結び「ラザールダイヤモンドブティック」を大都市を中心に10店舗展開しております。「ラザールダイヤモンド」とはダイヤモンドの歴史において「カッティングの魔術師」「Mr.ダイヤモンド」とも呼ばれた、伝説的人物ラザール・キャプラン創設の名門ブランド。ダイヤモンドの理想的な輝きを引き出すカッティング技術・アイディアルメイクを確立し、その至高の輝きは“世界で最も美しいダイヤモンド”と称され、ダイヤモンドの輝きへの限りない情熱は一世紀を超え今もなお引き継がれています。ラグジュアリーブランドとして婚約指輪・結婚指輪の他にファッションアイテムを取り揃えております。



PRIMO RING PROJECT について

多くの人々の幸せを創りたいという思いから。

当社には「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」という経営理念があります。その経営理念に基づき、1人でも多くの人々の幸せを創りたいという思いから始まった活動、それが当社のCSR活動『PRIMO RING PROJECT』です。

お客様、取引先、従業員、地域社会、株主など、当社に関わる全ての人たちの願いが一つの大きな輪(RING)となり、幸せを分かち合う人々の笑顔のRINGを大きく広げて行きたいと考えております。



RING PROJECT 軌跡

- 2007年10月 社会貢献活動の一環として、プロミスダイヤモンドとレーザー刻印の収益の一部を寄付する
- 2007年12月 社内で募金箱を設置し、社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに寄付を開始
- 2008年1月 CSR活動3カ年計画作成
- 2008年4月 社内横断組織として、社会貢献プロジェクト発足(事務局3名、メンバー2名)
- 2008年5月 ベトナムにおける幼稚園建設支援、竣工式参加
- 2008年6月 社会貢献プロジェクト第1回定例会議開催、社会貢献メールマガジン配信開始、ごみ拾い活動開始、プリモ・ジャパンオフィシャルサイトにCSRページ開設
- 2008年9月 上野公園でゴミ拾い活動を実施
- 2008年10月 チームマイナス6%活動開始
- 2009年2月 J・POSHへの寄付実施
- 2009年3月 第1回ペットボトル、使用済み切手回収
- 2009年4月 ピンクリボンPOP店頭設置、マンモグラフィ検査支援実施(従業員向け)、エコバッグ使用開始
- 2009年5月 CSR活動を「RING PROJECT」と命名
- 2009年7月 第12期プロジェクトメンバー決定
- 2009年10月 ピンクリボンキャンペーン実施、CSR報告書製作、第12期メンバー活動開始(メンバー8名、事務局2名)
- 2009年12月 社内イントラにRING PROJECTブログオープン
- 2010年2月 チャレンジ25キャンペーン社内宣言回収
- 2010年8月 児童養護施設の学生向けジョブプラクティス実施
- 2010年10月 フィリピンにおける小学校建設支援、竣工式参加

RINGはここから広がっていきます。

社内横断組織であるプロジェクトチームを中心に、積極的且つ継続的にCSR活動を進めております。特に社会貢献活動に関しては、活動起案から実行までをプロジェクトチームで行っています。

社内横断型「RING PROJECT チーム」について

RING PROJECTチームは、当社のCSR活動を積極的に推進していく事をミッションとし、全国から立候補したメンバーで構成されています。2009年度にメンバー2名でスタートしたRING PROJECTチームですが、2010年度は全国から8名のメンバーが立候補し、活動を推進して参りました。プロジェクト発足当初に比べて大人数のプロジェクトチームとなりましたが、定例ミーティングや合宿ミーティングで議論を重ねて活動を進め、数々の想いをカタチにする事が出来ました。



アイプリモ函館店 店長 笈口厚輔

職場環境を良くするため、企業価値を高めるため、地球の未来のために、北海道から鹿児島まで全国からメンバーが集まり、議論を重ねてきました。販売とは別の難しさを感じながら、自分自身も少し成長が出来たように感じます。



アイプリモ水戸本店 店長 播口恵美

8月に行われたジョブプラクティスは、初めての試みで、私たちメンバーにとってはとても大きな課題だと考えています。実際に行ってみると普段触れ合う事のない学生たちと真剣に向き合う事で改めて自分を振り返ることができ、とても新鮮でした。今後もこのような取り組みを通じて自分自身成長していきたいです。



アイプリモ大阪本店 岡田由佳理

小さな雫が波紋を作り、静かな波紋が繰り返される事により、大きな波へと繋がっていく事に肌を感じながら活動させて頂きました。知らない事も沢山あり、考えさせられる部分も多かったのですが、やりがいと喜びを感じる時間を持つ事ができました。



ラザール ダイヤモンド ブティック 大阪本店 岡嶋美央

普段であれば、なかなか会う事無い本社や店舗の人達と出会い、話し合える事も、このプロジェクトの大きな魅力だと思います。皆で話し合った意見が会社の中で一つの形になっていく事には本当に喜びを感じられます。リングプロジェクトに参加して店舗では味わえない、とても刺激的な経験が出来ました。



アイプリモ鹿児島本店 別府奈央子

使用済み切手・ペットボトルキャップの回収など、ほんの小さな社会貢献活動でも、たくさんの方に協力していただき、リングになって繋がり、大きな輪になることを実感しました。リングプロジェクトチームの活動は私が社会人になって、1番貴重な体験でした。



ラザール ダイヤモンド ブティック 仙台本店 庄子真紀子

社会貢献活動の答えは1つではないという事を、プロジェクトを通して感じました。今はまだ形に出来る事は少ないですが、今後リングプロジェクトがどのように活動を広げていくのか考えると、とても楽しみです。その輪に携わることが出来、大変嬉しく思います。



アイプリモ新宿店 竹澤美和子

最初は少し興味がある位の軽い気持ちで応募したため、自分がその場にいる事が場違いにすら感じることもありました。しかしミーティングを重ねるうちにメンバーが一丸となりプロジェクトを成し遂げる喜びを感じる事が出来、プロジェクトメンバーになって良かったと思いました。



アイプリモ長野本店 大川祐矢

形に残り継続支援ができる活動を行いたいと考え、立候補しました。そしてフィリピンの小学校建設支援という、形になる活動ができた事をとても嬉しく思います。メンバーの一員になれた事で店舗に居るだけでは味わえないとてもいい経験をする事が出来ました。

幸せなおふたりにふさわしいダイヤモンドをご提供したいから。

私たちは品質、産地、流通等、あらゆる角度からプロのバイヤーが厳選したダイヤモンドのみを世界中から仕入れ、金やプラチナなどの指輪の素材も含め、厳しい検品を繰り返し、お客様へお届けしています。



コンフリクトダイヤモンドとは？

アイプリモが排除しているコンフリクトダイヤモンド(=紛争ダイヤモンド)は、「ブラッドダイヤモンド」とも言われ、同名の映画が作られるほど国際的な問題となっています。中央・西部アフリカを中心に、戦争で疲弊している地域で違法に採掘・取引されており、新たな紛争を招く資金源になっています。



ロシア産ダイヤモンド

ロシア産のダイヤモンドは、透明感のある冴えた輝きで、世界のジュエリーブランドから注目を集めています。心を魅了する美しさの理由は、高温高压下で結晶化し、安定した環境に育まれたその生い立ち。アイプリモではロシア国営ダイヤモンド研磨会社「クリスタル社」から供給を受け、アイプリモだけの証明特典をつけてお届けしています。

- ・信頼の証、「クリスタル社」発行の産地証明書付き。
- ・ガードル部分にシリアルナンバーと「クリスタル社」マークを刻印しています。



アーガイル産ピンクメレダイヤモンド

希少なピンクダイヤモンドのほぼ唯一の産出地は、オーストラリアのアーガイル鉱山です。アイプリモは2008年4月に世界に先駆けて「正規アーガイル産ピンクメレダイヤモンド販売店」としてアーガイル社から認められました。

- ・アイプリモのピンクダイヤモンドは、全て正規のアーガイル産です。
- ・輝きと色みが最も美しいアーガイル産のピンクダイヤモンドを、厳選してご提供しています。



WFDB「世界ダイヤモンド取引所連盟」加盟



2008年7月25日(金)日本を代表するダイヤモンド取扱業者で構成された機関である東京ダイヤモンドエクスチェンジ(Tokyo Diamond Exchange 以下略称:TDE)に加盟。このTDEを介して2008年10月1日(水)『世界ダイヤモンド取引所連盟』(World Federation of Diamond Bourses 以下略称:WFDB)の正式メンバーに認定されました。WFDBはダイヤモンド取引に関する世界の情報共有と問題解決を目的とした国

際組織であり、今回の認定によって、日本のジュエリー業界のみならず世界20カ国の1万を超えるダイヤモンド取扱業者へ、広くその信頼と責任を掲げて参ります。当社がWFDBに認定された経緯には、コンフリクトフリーのダイヤモンドのみを販売する徹底した取り組みが高く評価された点にありました。今後も引き続きコンフリクトフリー活動を世界へ働きかけると共に、国内外のダイヤモンドマーケットにおける最新情報を素早く入手し、ダイヤモンドに関する確かな情報をお客様へ提供して参ります。

すべては職場環境からはじまります。

お客様に最高のホスピタリティが提供できるのは職場環境あってこそ。

女性と若い社員が多い当社では、働く社員の立場になって、常に働きやすい職場環境の整備に努めています。

ワーク・ライフ・バランス

社員の仕事とライフイベントとの両立を支援しています。現在までに多くの社員が活用し、産休・育休後の職場復帰を果たしています。



アイプリモ
富山本店
店長 田上敬子

2007年1月から産休・育休を取得しました。息子が3才になった今では、私が日曜日に仕事に行くのもわかるため、「いってらっしゃい」と見送ってくれます。お子様連れのお客様がいらっしゃると、我が子のように接することができたり、妊婦さんにはアドバイスできたりと、出産・子育ての経験が活かせる事ができ、コミュニケーションの輪が広がっています。産休・育休制度が充実している会社と、この環境に協力してくれている家族に、心から感謝しています。

ダイバーシティ推進

当社の全社女性役職者比率は57.3%です(2010年9月末現在)。中でも店長職は68.8%を女性が占めています。男女を問わず、全ての社員が能力を最大限に発揮し、会社と個人の双方が成長できる環境を目指しています。

キャリア登録制度

個人や家庭の事情によって退職した社員が一定条件を満たした場合、退職後もアルバイトとして勤務できる『キャリア登録制度』を設けています。

乳がん検診料負担

女性社員が多い会社だからこそ、近年の乳がん発症率上昇は深刻な問題と認識しています。社会貢献活動におけるピンクリボン運動の一環として、満30歳以上の全女性社員に対し、企業検診にてマンモグラフィ検査を実施し、乳がんの早期発見に取り組んでいます。また、当社オリジナルのピンクリボンロゴを作成し、啓蒙活動を進めています。

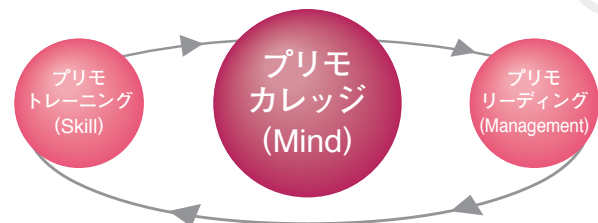
ピンクリボン運動とは？

アメリカの乳がんで亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇を繰り返さないように」との願いを込めて作ったリボンからスタートした乳がん啓蒙運動です。



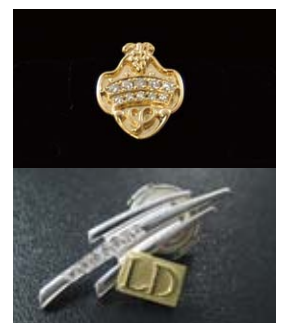
プリモ・ジャパン教育体系

従業員向けの人材教育を目的として、プリモカレッジ(マインド醸成)・プリモトレーニング(スキル教育)・プリモリーディング(マネジメント教育)の3つのプログラムで教育体系を構成し、カリキュラムに則って様々な研修を行っています。中でもプリモカレッジは経営理念とFive Values(5つの行動基準)を基盤としたマインドの醸成を目的としており、職種や役職に関わらず全社員が入社と同時に入学し、3年の月日を掛けて様々な研修プログラムを通じて「プリモイズム」を体感する場となっています。



プリモクラッセ

入社時に18金の社内ブローチを付与致します。最初はプレーンなブローチですが、販売実績・勤続年数・取得資格などの一定基準をクリアすることにメダイヤ(小粒のダイヤモンド)が1石ずつ、最大10石まで増えていきます。お客様から頂いたありがたいの証であり、社員個人の誇り・勲章でもあります。



フィリピン小学校建設支援（'10）

2008年のベトナム山岳地域幼稚園建設事業支援に続き、2010年5月からフィリピンでの小学校建設プロジェクトを支援し、2010年10月に完成を予定しています。

プロジェクト概要

- 対象エリア：フィリピン国サザンレイテ州リロアン町アマガ村
- 世帯数：97世帯（481名） ●生徒数：75名（幼稚園生～小学校6年生）
- 支援内容：男女別のトイレを備えた2教室からなる校舎1棟を建設／机といすなどの教室備品や教材を支給／教師トレーニングの実施
- 完成予定：2010年10月



現在のアマガ小学校

プロジェクトの背景

フィリピンでは国全体で4万4,000室以上の教室が不足しているという統計があります。

教室は老朽化し、壁や窓は壊れ、屋根は雨漏りし、床が平らではない学校がいくつもあり、ヤシの葉や竹で作った簡易教室で勉強している子どもたちも少なくありません。特に農村部では、政府の教育予算が不足しているため、学習に適した安全な施設が整っていないことに加え、教師や授業内容に質の低下が目立ちます。また、家計の苦しさも原因となって学校を中退する子どもが後を絶ちません。今回のプロジェクトにおいて、当社は建設にかかる費用を一時的に負担するという一過性のものではなく、学ぶ環境のレベルを保ち、向上させることを目的として、長期的な支援を目指します。

MESSAGE

財団法人日本フォスター・プラン協会 プログラム部オフィサー 寺田聡子様より

世界中の子どもたちには、「教育を受ける権利」が平等に保障されています。しかし、多くの途上国の子どもたちは未だその権利が奪われています。支援対象であるフィリピンのアマガ小学校は、校舎の構造が脆弱である上、海岸に近いため塩害で老朽化が進んでいます。さらに、この地域では台風被害が多く、現在の教室では子どもたちの安全を守ることができません。子どもたちは、安全で清潔な新しい教室で勉強できるようになることを今から心待ちにしています。プリモ・ジャパン株式会社様の子どもたちへの素晴らしいご支援に心から感謝申し上げます。



財団法人

日本フォスター・プラン協会 (プラン・ジャパン)

プラン・ジャパンは、途上国の子どもたちとともに地域開発を進める国際NGOプランの一員です。プランは約70年の歴史を持ち世界65カ国で活動を展開する、国連に公認・登録された団体です。アジア・アフリカ・中南米の48カ国で、学校建設、予防接種、職業訓練など、すべての子どもたちが可能性を発揮できる世界の実現を目指して活動しています。

チャレンジ25キャンペーン（'09～）

チーム・マイナス6%に引き続き、2010年3月にチャレンジ25キャンペーンへの参加表明を致しました。店舗ごとに活動内容を決めて社内宣言を行い、本社及び全国の店舗で積極的に取り組んでいます。

チャレンジ25キャンペーンとは？

「チャレンジ25キャンペーン」は、これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」から、よりCO2削減に向けた運動へと生まれ変わり展開するものであり、オフィスや家庭などにおいて実践できるCO2削減に向けた具体的な行動を「6つのチャレンジ」として提案し、その行動の実践を広く国民の皆様へ呼びかけているキャンペーンです。

未来が変わる。
日本が変わる。
25

児童養護施設の学生向けジョブプラクティス実施（'10）

NPO法人ブリッジフォースマイルを通じて、2010年8月19日に児童養護施設で生活をする学生へ向けたジョブプラクティスを実施しました。11名の学生と2名の施設職員の方々にご参加頂き、当社の『おもてなし』の精神を接客で感じて頂いたり、マナーやコミュニケーションについての講義を受けて頂きました。



現在、児童養護施設は日本全国に約570箇所あります。

時代の変化と共に、子どもたちが施設に入る理由も変化しており、近年では身体的虐待やネグレクト(育児放棄)を理由とした入所が増加しています。施設数や職員数が不足しており、18歳で子どもたちが退所する際の自立支援や退所後支援への取り組みが遅れています。家事力、仕事力、コミュニケーション力、金銭管理能力が足りない子どもや、親に保証人になってもらうこともできない子どもが少なくありません。孤独や生活の苦しみから犯罪や自殺に至るケースもあります。

当社では、学生のコミュニケーション力を磨きながら、実際に働く社会人の声を聞く事で業界や職種の選択の幅を広げてもらう事を目的として、NPO法人ブリッジフォースマイルが行っている支援活動のひとつであるジョブプラクティスを実施致しました。

MESSAGE

特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル 代表 林恵子様より

実際にブライダルリングに触れ、一流のおもてなしを体感した11名の学生たちは、本当に楽しそうでした。なかなか自信がもてなかったり、自分の将来を考えることを避けたりしがちな子どもたちが、身を乗り出して話を聴いている様子を見て、社員のみなさんの熱意がまっすぐ伝わったのだと嬉しくなりました。社員のみなさんが悩みながらも真剣に仕事と向きあい、イキイキと働く姿は、社会人の良きロールモデルとして、鮮明に子どもたちの記憶に刻まれたことと思います。本当に素晴らしい機会をいただき、ありがとうございました。




特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル

ブリッジフォースマイルは、児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちをサポートする団体で、主に関東で活動しています。様々な家庭の事情で親と一緒に暮らせない子どもたちが児童養護施設で生活していますが、18歳になると施設を出て一人暮らしを始めます。退所を控えた中高生に一人暮らしの準備を支援するプログラムを実施したり、退所者のメンタルケア、住宅を支援したりするなど、中学生から退所後までを一貫してサポートしています。子どもたちが、「自分の努力と周りの人の支えがあれば、自分のハンディキャップは乗り越えられる。失敗してもやり直せばいい」と、勇気を持てるような支援をカタチにしていきます。

ごみ拾い活動、ペットボトルキャップ及び使用済切手回収運動（'09～）

ペットボトルキャップ回収分はNPO法人Re.ライフスタイルを通じて、リサイクル業者に買い取って頂いた対価を寄付金として、貧困国の子どもたちにワクチンを贈っています。使用済切手は日本キリスト教海外医療協会(JOCS)を通じて換金し、発展途上国へ医療従事者を送ることに役立てて頂いています。ごみ拾い活動も含め、これらの活動は前期から継続的に行っており、来期以降も続けて参ります。





本レポートの表紙には"PRIMO RING PROJECT"のシンボルパターンがデザインされています。

結婚指輪に由来したパッチワークとして古くから伝わる"ダブルウェディングリング"をモチーフとし、
"アイプリモ"と"ラザール ダイヤモンド ブティック"のそれぞれのテーマカラーを併せ持ったシンボルです。

「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、プロジェクトに込めた想いを表現しています。

 PRIMÒ JAPAN

<http://www.primojapan.co.jp>